

News Release

2026年4月23日
一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

「JEMA-GX レポート 2025」を公開 － 電機業界で“脱炭素と経済成長の両立”が進展 －

一般社団法人日本電機工業会(JEMA)は、電機業界におけるグリーントランスフォーメーション(GX)の進展状況をまとめた「JEMA-GX レポート 2025」を公開しました。会員企業のデータを分析した結果、温室効果ガス(GHG)排出削減と売上成長の両立(デカップリング)が業界全体で明確に進展していることが示されました。

■ 主なポイント(2024 年度実績)

- GHG 排出量(Scope1、2)は 2020 年度比 32.3%削減
→ 業界全体で着実な排出削減が進展
- 再エネ由来電力使用量は 2020 年度比で約 8 倍に拡大
→ 各企業で再エネ導入を加速
- 7 割の企業が「売上増」と「排出削減」を両立
→ 脱炭素と経済成長の両立(デカップリング)が顕在化
- 3 割の企業が削減貢献量を算定・開示
→ ポジティブ・インパクトの訴求も進む

■ 調査の概要

本調査は、JEMA 会員企業のうち 61 社(連結ベース)を対象に、以下の項目について分析したものです。

- ・GHG 排出量(Scope1、2、3)
- ・エネルギー消費量(電力・燃料、電化率、再エネ比率等)
- ・脱炭素経営(中長期目標設定、削減貢献量算定等) * 中長期目標は 2025 年度時点 GHG 排出量およびエネルギー消費量については、2020 年度を基準に 2024 年度までの推移を分析しています。

■ 調査対象と市場規模

- ・対象企業:61 社(グローバル・グループ連結ベース) * 個社ベース 83 社
- ・売上高:74.8 兆円(2024 年度、開示企業合計)
→ 2020 年度比+31.1%、2023 年度比+3.2%

■ 主な調査結果

(1)GHG 排出量の削減状況 ー 電力由来排出の削減が大きく進展ー

- ・Scope1、2 排出量:1,474 万 t-CO₂e(うち約 7 割が Scope2 由来)
→2020 年度比▲32.3%(2023 年度比▲9.4%)

(2)原単位の改善 ー生産性向上と脱炭素の同時進展ー

- ・売上高あたり排出量(各社平均):2020 年度比▲48.4%

(3)デカップリングの進展 ー業界全体で「成長と脱炭素の両立」が加速ー

- ・42 社(約 7 割)が売上増と排出削減を両立(前年度:36 社)

(4)エネルギー消費と電化・再エネ化 ー再エネ導入が大幅に拡大ー

- ・総エネルギー消費量:51,733GWh(2020 年度比▲13.5%)
- ・電化率:63.2%
- ・再エネ電力量:9,998GWh(再エネ比率 30.6%)→ 2020 年度比 約 8 倍

(5)中期目標達成の進捗 ー目標に向けた着実な進展ー

- ・21 社(約 5 割)が削減目標に対し順調または上振れ(前年度:23 社)

(6)脱炭素目標の設定状況 ーより高度な目標設定が進展ー

- ・SBT 認定取得企業:22 社(約 3 割)
(Near-term:22 社、Long-term:5 社、Net-Zero:5 社)

(7)削減貢献量の算定・開示 ーポジティブ・インパクトの訴求推進ー

- ・削減貢献量を算定・開示:21 社(約 3 割)
- ・JEMA は、2026 年 1 月に発行された IEC 63372(電気電子製品や IoT サービスによる削減貢献量の算定に関する国際規格)の開発を主導。今後、算定ガイダンスも開発予定。

■ レポートおよび関連情報

エグゼクティブサマリー、レポート本編は以下よりご覧いただけます。

[JEMA-GX レポート 掲載サイト](#)

■ 報告会のご案内

レポート公開に伴い、企業およびメディア関係者向けの報告会を開催します。

「JEMA-GX レポート 2025 報告会～グリーン製品市場と削減貢献／電機業界の機会をさぐる」

- ・日時:2026 年 5 月 13 日(水)14:30～16:30
- ・形式:対面(コモレ四谷タワーコンファレンス)／オンライン
- ・内容:レポート解説、パネルディスカッション
- ・登壇者(順不同):政策研究大学院大学 竹ヶ原氏、野村アセットマネジメント 大島氏、
三菱 UFJ 信託銀行 加藤氏、日刊工業新聞社 松木氏、日本経済新聞社 京塚氏

[JEMA-GX レポート 2025 開催案内・参加申込サイト](#)

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人 日本電機工業会 環境ビジネス部

TEL:03-3556-5883

Email:env_public*jema-net.or.jp *を@に変えて送信ください

<GHG排出量と再エネ由来電力使用>

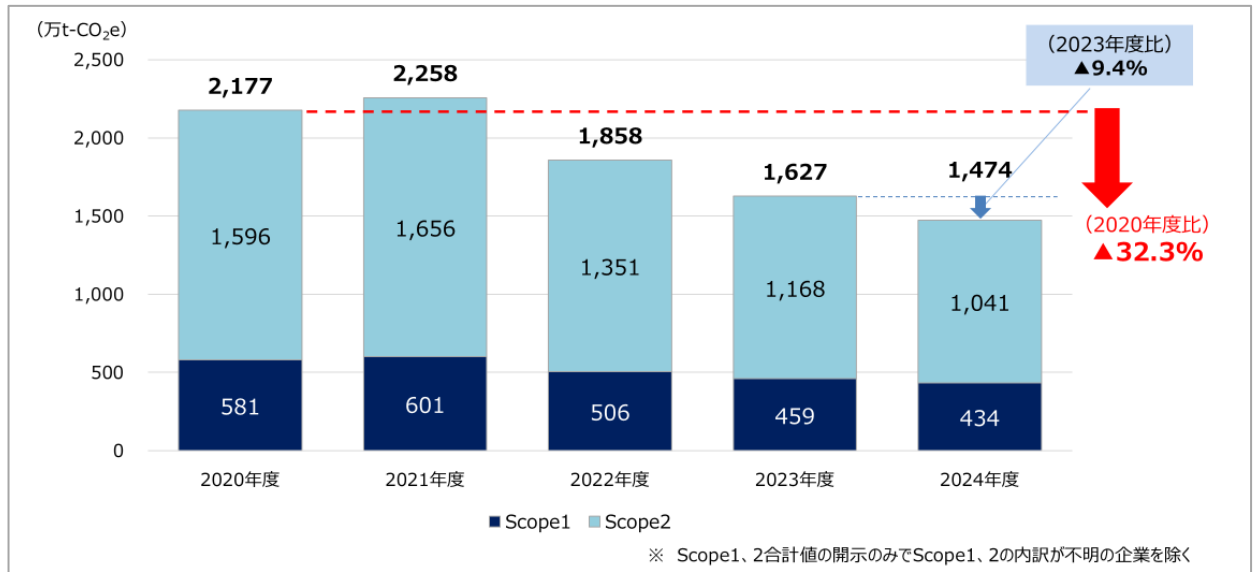


図1：GHG Scope1、2排出量の推移

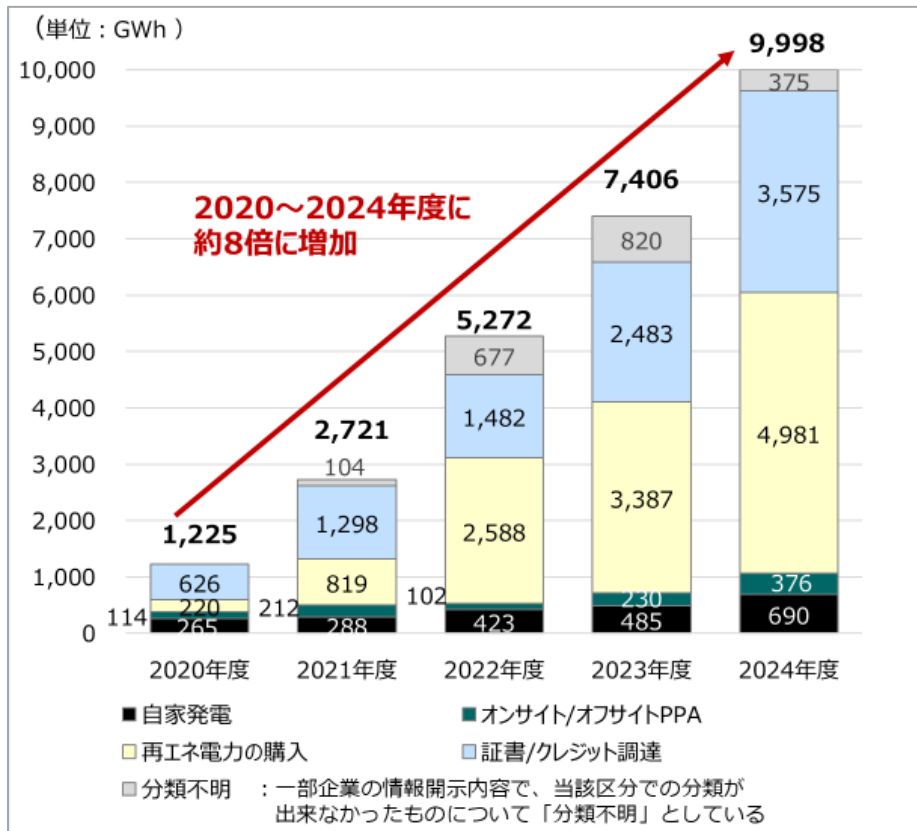


図2：再生可能エネルギー由来電力の使用状況

＜デカップリング進展＞

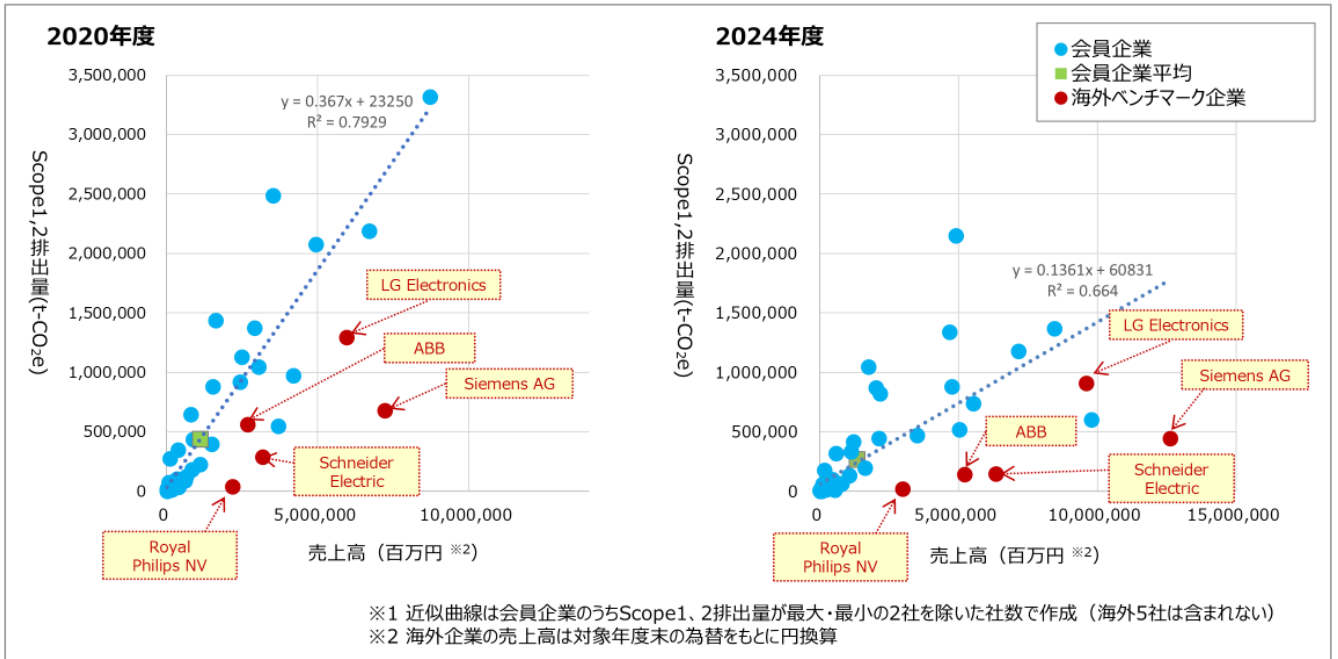


図3：GHG Scope1、2排出量と売上高の相関①（業界全体の傾向）

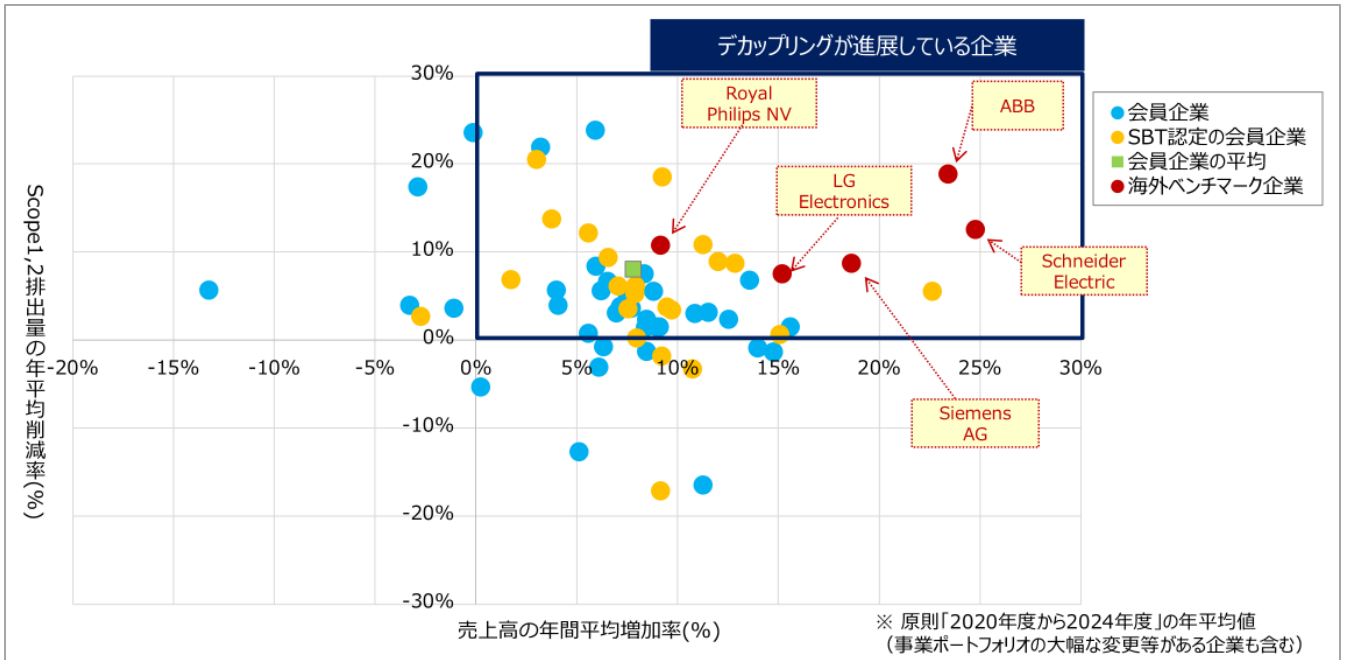


図4：GHG Scope1、2排出量と売上高の相関②（個社の状況）